

ながのけん 埋蔵文化財センター速報

平成14年2月4日 発行

発掘調査 終わる

12月中旬から幾回かの大雪。北信地方ばかりでなく、飯田市などの南信地方でもこの時期としては記録的な雪が降りました。

4月から始まったセンターの調査は、1月上旬の箕輪遺跡での雪中調査を最後に全て終了しました。

県内各地で実施された調査では、大きな事故もなく、歴史を塗り替えるような成果が多数報告されました。(P. 4に展示会のお知らせがあります。)



今年度の調査・整理状況

本調査と試掘調査「なぜ、ここに遺跡があるのか分かるんですか。」見学会でよく聞かれる質問です。

私たちに超能力はありません。ですから事前に調査を行ないます。遺跡地図の遺跡範囲で開発行為がある場合、遺跡の現状を調べます。

まず現地を歩いて地形や現状を見たり、表面に落ちている遺物を拾ったりする「踏査(とうさ)」を行います。さらに詳しく調べるために、主要な箇所「トレンチ(溝)」を掘って、地層や出土遺物を検討する「試掘調査(しくつちょうさ)」が行なわれます。

その結果から、「本調査の必要性」や「調査法の選定」などの協議が行なわれ、はじめて「本調査」のゴーサインが出るのです。

開発行為の最初に行なわれる調査ですから、道なき山林でサルに嚇かされたり、耕作の少ない冬に寒風に鼻水を凍えさせたりしながらの作業です。

今年は2遺跡で試掘が終了し、現在協議中です。

遺跡名	所在地	主な時代	状況
1. 吹野原A遺跡	信濃町古間	旧石器、縄文	調査完了
2. 仲町遺跡	信濃町野尻	旧石器～中近世	本年度分終了
3. 八幡遺跡群	更埴市八幡		
社宮司遺跡	*	古墳～平安	本年度分終了
宮川遺跡	*	なし	調査完了
大道遺跡	*	古墳後期	調査完了
4. 力石条里水田址	上山田町上山田	縄文、弥生、水田跡	試掘終了
5. 上五明条里水田址	坂城町上五明	平安～近世	報告書刊行
6. 鎌田原遺跡	小諸市御影新田	古墳前期	本年度分終了
7. 矢出川遺跡群	南牧村野辺山	旧石器	本年度分終了
8. 山の神遺跡ほか	大町市常磐	縄文早期	報告書作成
9. 肩平・まねき遺跡	大町市常磐	縄文?	試掘終了
10. 聖石遺跡	茅野市北山	縄文中期・後期	報告書作成
長峯遺跡	茅野市北山	縄文中期・後期	報告書作成
11. 馬捨場遺跡	茅野市泉野	旧石器、縄文中期	報告書刊行
12. 箕輪遺跡	箕輪町三日町	弥生中期～中近世	本年度分終了
13. 丸山遺跡	飯島町本郷	縄文中期・後期	調査完了
14. 竹佐中原遺跡	飯田市山本	旧石器	本年度分終了
15. 下り松遺跡	飯田市山本	縄文前期か	本年度分終了
16. 山本大塚遺跡	飯田市山本	中近世?	本年度分終了
17. 山本中平遺跡	飯田市山本	近世以降の水田	本年度分終了
18. 辻原遺跡	飯田市山本	旧石器?	本年度分終了
19. 赤羽原遺跡	飯田市山本	なし	本年度分終了
20. 川路大明神原遺跡	飯田市川路	縄文中期	本年度分終了

遺跡ニュース

ふゆのおしごと

マイブンの人って
冬は何してるん
ですか？



長野県の冬は厳しいため、12月～3月にはあまり発掘調査は行なわれません。

天気の良い平日にはたくさんの人たちが右往左往していた現場も、今はまるで神隠しにあったかのように何にも残っていません。

マイブンの人たちはいったいどこへ行ってしまったんでしょう。クマやカエルのように、暖かい春の日差しが届くまで何処かで冬眠しているのかしら。

“ここに居ます”

長野市のJR篠ノ井駅に程近い布施高田にある、ちょっぴり古ぼけた3階建ての鉄筋建物とプレハブに、どこかの現場でみた顔を見つけました。

「長野県埋蔵文化財センター篠ノ井整理棟」。ここで行なわれている、マイブンの冬の仕事ぶりを探ってみましょう。

キーワード1

洗浄（せんじょう）

遺跡からは毎日、さまざまな遺物が出土します。土器、石器、木器など、それらはみな“土付き”のまま、ビニール袋に採集されます。遺跡の調査中に



土器の洗浄（箕輪遺跡）

も発掘現場でそれらの遺物を洗う、「洗浄」作業が行なわれますが、洗い切れなかった遺物は、そのままコンテナ箱に入れられて、各地からはるばる篠ノ井まで運ばれてきます。

整理棟内にある「洗浄室」では、遺物の種類に応じて、ブラシや刷毛などの道具と水または薬品類を使って丁寧に汚れを洗い出していきます。

この「洗浄」は遺物が整理されていく、一番最初の基礎作業です。そして遺跡では分からなかった貴重な遺物が“新発見”される瞬間でもあります。

キーワード2

注記（ちゅうき）

調査では日々多くのことが記録されていきます。遺物や遺構を図面に描いたり、遺物の出土地点をビニール袋や台帳に書いたり、出土状況の写真を撮ったりという地道な作業が積み重ねられます。

これらの記録も大切な埋蔵文化財になり、保存されていくのです。

室内ではこの記録類に基づいて、土器や石器の1点1点に出土地点を記号で記したり、写真の1コマ1コマに内容を書いていきます。

これこそが誰もが恐れる「注記」という、極めて細かく根気のいる作業なのです。

最近「注記マシン」という便利な機械が導入され、遺物の注記の能率が上がっていますが、機械で順序良く注記できるように準備する人手の作業は不可欠です。



2 maibun クイズ1：竹佐中原遺跡から出土した石器は後期○○○時代以前と見られ、調査が続いています。さて○○○とは？

- ①新石器 ②旧石器 ③温水器

機械での注記ができない石器には、面相筆という極細の筆に墨汁やポスターカラーをつけて、米粒より小さな記号や文字を書き入れます。10個も続けると眼がチカチカしてきます。そんなときは窓の外の白く化粧された山々を眺めるのが一番です。

写真には台帳から、「いつ（日付）、どこで（地点）、なにを（内容）、どこから（方向）撮ったのか」といった情報を簡潔に注記していきます。これも細かな作業ですが、コマごとに映し出される懐かしい現場の日々にちょっとだけ心が癒されます。

注記をしておかないと、遺物は「埋蔵文化財」ではなく、ただの「おとしもの」になりかねません。しかも一度落としてしまうと、決して落とし主は現れないものなのです。



キーワード3

修正 (しゅうせい)

センターの調査は、開発行為に先立つ緊急調査がほとんどです。大学や研究機関で行なわれる学術発掘より予算は多いでしょうが、調査面積は広く、期間は待ったなしの場合がほとんどです。

山や谷の多い長野県の現場では穏やかな陽光のもと、時折吹くそよ風に髪が撫でられる、そんな過ごしやすい日々はごく僅かです。

迫りくる大型重機の震動におびえ、アルプスおろしの北風に凶面をとばされ、突然の雷雨に追われて現場に凶面を置き忘れ、いくつもの遺構の凶面を抱えておろおろ歩き…。そして悩み、考え。

そんな日々を描き蓄えられた膨大な凶面類。そこには多くの情報が満載されています。この生の情報から、必要な記録や図を集めたり、区別したり、直とりという「修正」作業が行なわれて、はじめて「とつの凶面」が仕上がります。



泥のついた現場凶面も、この「修正」作業を終え、清凶され、「調査報告書」の1ページを飾ります。

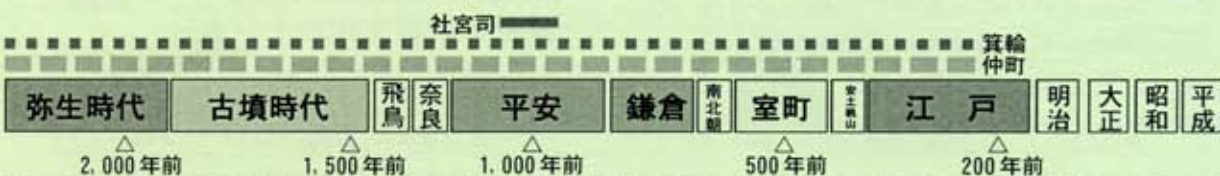
ファイナルワード

報告書 (ほうこくしょ)

現場は調査が完了すると間もなく工事が始まり、後には遺跡の痕跡すら見当たりません。

私たちは現場で蓄えられた遺物や情報、記録を県民のみなさんへきちんと報告するために「調査報告書」を作成します。今回ご紹介した「ふゆのおしごと」は、その作業の第一歩なのです。

「報告書」を刊行してやっと、わたしたちの「マイブンのしごと」は完了します。



maibun クイズ2：社宮司遺跡で見つかった木製の塔はなんと呼ばれるものでしょうか。

①横断歩道 ②六角木柱 (もくどう) ③いっこく堂

答えはP4→

展新発見 ぞくぞく われわれ 示会のお知らせ

これから開催する展示会の日程をお知らせします。最新の調査の成果を公開いたします。お誘いあわせの上、お越しください。お待ちしております。

JR篠ノ井駅自由通路

開催中です

パネル展「卑弥呼が暮らした時代のナガノ」

【会期】平成14年1月22日(金)～3月15日(金)

【内容】長野市松原遺跡、篠ノ井遺跡群、川田条里遺跡からわかる、長野地域の弥生時代の様子を写真パネルで紹介いたします。

【備考】自由通路です。ご自由にご覧ください。

長野県民文化会館展示室

開催中です

写真展「発掘はっくつ2001」

【会期】平成14年2月3日(日)～2月11日(月)

【内容】県立歴史館速報展に出展される遺跡を写真パネルで紹介いたします。

【備考】入場無料です。

長野県庁1Fロビー

遺物とパネル展「埋文センターのお仕事」

【会期】平成14年2月12日(火)～2月22日(金)

【内容】センターの仕事を遺物やパネルで紹介いたします。

遺跡と内容

- 大町市山の神遺跡 (縄文時代早期の土器・石器)
- 茅野市聖石遺跡 (縄文時代中期の土器・石器)
- 箕輪町箕輪遺跡 (弥生時代の土器)

更埴市市民ギャラリー(しなの鉄道屋代駅内)

パネル展「写真でみる長野県の遺跡発掘2001」

【会期】平成14年2月25日(月)～3月1日(金)

【内容】県立歴史館速報展で遺物を展示する遺跡を写真パネルで紹介いたします。

更埴市倉科將軍塚古墳、更埴市社宮司遺跡 他

【備考】入場無料です。ご自由にご覧ください。

野 根 埋蔵文化財は、文字通り土地に埋蔵されている文化財です。少々長い名称ですから、普段はマイブンとかマイソウなどと呼んでいます。発掘調査で、現代の日の光にさらされた文化財を記録して報告していくこと、また一般の皆さんに成果を発表して活用してもらうことが私たちの使命です。決して「埋没」された文化財にならないように。(R)

平成13年度長野県埋蔵文化財センター速報展

長野県の遺跡発掘2001

そして明日も調査はつづく...

【会期】平成14年3月16日(土)～5月12日(日)

【会場】長野県立歴史館(企画展示室)

休館日 3月18日・22日・25日、

4月1日・22日・30日、5月7日

【内容】県内で近年話題となった出土品を一堂に集めて展示します。地元の見学会以外では初公開の資料も多数出展する予定です。この機会にぜひご覧ください。



大野遺跡出土の人面装飾土器

- 旧石器時代 仲町遺跡・竹佐中原遺跡・八風山遺跡の石器他
- 縄文時代 淀の内遺跡のヒスイ、大野遺跡・吉野遺跡群・久保上ノ平遺跡・熊久保遺跡の人面土器 他
- 弥生時代 箕輪遺跡の石器・土器
- 古墳時代 蛇塚古墳・倉科將軍塚古墳
- 古代 社宮司遺跡の緑釉陶器、奈良二彩 他
- 中近世 深志城跡、松本城下町遺跡、殿村東昭寺址

【観覧料】常設展と共通です。

【主催】長野県埋蔵文化財センター・長野県立歴史館

【後援】長野県教育委員会 (財)八十二文化財団

講演会

テーマ日本列島に前期・中期旧石器時代の足跡は残されていたか?

日時/3月17日(日)

午前10時～午後3時

会場/長野県立歴史館講堂
(聴講無料)



竹佐中原遺跡出土の石器

●事例報告(午前10時～午後12時)

1. 信濃町仲町遺跡 鶴田典昭(埋文センター)
2. 飯田市竹佐中原遺跡 大竹憲昭(同)

●講演会(午後1時～3時)

「旧石器研究は生きている」

明治大学教授 戸沢充則 氏

■主催:長野県埋蔵文化財センター・長野県立歴史館
(財)八十二文化財団

■問い合わせ:長野県立歴史館(026-274-2000)
<http://www.npmh.net>

長野県埋蔵文化財センター速報

平成13年第3号

平成14年2月4日

(財)長野県文化振興事業団

長野県埋蔵文化財センター

〒387-0007 更埴市屋代字清水260-6

Tel 026-274-3891

Fax 026-274-3892